

# 令和元年度 竜王小学校公開授業研究会 アトラクション ＝4・5・6年生による合唱＝

令和2年1月28日（火）

指揮：小尾 一彦 伴奏：末正 優子

## ぐんじょう 「群青」

作詞：福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生（構成：小田美樹）

作曲：福島県南相馬市立小高中学校音楽教諭 小田美樹

東日本大震災を原因に起こった原発事故のために避難を余儀なくされた福島県南相馬市立小高（おだか）中学校の生徒たちが、離ればなれになった友への想いや、ふるさとで再会の決意の言葉を小高中学校音楽教諭 小田美樹先生がまとめて、曲にしたのが「群青」です。

2011年3月11日の東日本大震災で、津波により街が甚大な被害を受け、小高中学校生徒も4名亡くなりました。（うち、「群青」の平成24年度卒業生が1年生のときに震災が起き、同級生も2名亡くなりました。）

震災後、残ったわずか6、7名の生徒も、心を痛め、音楽の授業では歌が歌えなかったそうです。ある日、小高中学校を離れた生徒がどこにいるのか、大きな日本地図に生徒の顔写真を張り付けながら、子どもたちが「遠いね」「でも、この地図の上の空はつながっているね。」などと話しながら、詩づくりが始まったそうです。子どもたちの想いを綴った日記や作文、何気ないおしゃべりから、小田先生は子どもたちの想いを書き留めていき、それをつなぎ合わせて、「群青」ができあがったそうです。そして、3年生に進級した生徒たちは、徐々に歌声を取り戻し、卒業式で、「群青」を合唱することができ、今では全国の学校で歌い継がれています。

## 「ケ・サラ」

作詞・作曲：J.フォンタナ C.ペス N.イタロ F.ミグリアッチ

ケ・サラの意味は、「なるようになるさ」。

「いやなこともあるけど、うまくいかないこともあるけど、くよくよしないで、前向きに明るく生きていこう！」そんなメッセージが伝わる「ケ・サラ」です。子どもたちは、「ケ・サラ」という言葉とメロディが大好きで、気がつくとならずさんでいます。心を揺さぶる楽曲、それが「ケ・サラ」です。



# 全校歌声タイムの活動の様子

本年度、**モジュール**の弾力的な運用の一つとして、**つどいの広場**の時間に30分間（13:25-13:55）の「**全校歌声タイム**」を行っています。その中で、全校合唱と各学年の合唱の発表を行っています。

## 第1回 全校歌声タイム 5月17日(金)

- ♪ 全校合唱「竜王小学校校歌」
- ♪ 6年生の発表「地球星歌」



## 第2回 全校歌声タイム 6月14日(金)

- ♪ 全校合唱「この星に生まれて」
- ♪ 4年生の発表「怪獣のバラード」



## 第3回 全校歌声タイム 7月12日(金)

- ♪ 全校合唱「すてきな友達」
- ♪ 5年生の発表「Wish～夢を信じて」



## 第4回 全校歌声タイム 10月24日(木)

- ♪ 全校合唱「U&I」
- ♪ 3年生の発表「少年少女冒険隊」



## 第5回 全校歌声タイム 11月 8日(金)

- ♪ 全校合唱「スマイル・アゲイン」
- ♪ 2年生の発表「365日の紙飛行機」



## 第6回 全校歌声タイム 12月20日(金)

- ♪ 全校合唱「歌よ ありがとう」
- ♪ 1年生の発表「帰りの会のサンバ」

